

2025年度 事業報告

■ 上部団体会議報告

1 日本ソフトテニス連盟

Mission・Vision・Value (MVV) に基づきソフトテニスの普及振興により、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的として「普及振興」、「競技力向上」、「国際振興」の3つの柱に加え「組織・財政基盤の強化」を推進し定款に定められた事業を推進する。

- (1) 連盟事務所移転
- (2) ルール改正

2 東日本ソフトテニス連盟

- (1) 東日本ソフトテニス選手権大会
令和7年度富山県で開催 令和8年度は山形県で開催

3 北信越ソフトテニス連盟

- (1) YONEXカップ北信越選抜インドア大会について
例年開催の「リージョンプラザ上越」が改修工事のため使用不可となり、令和8年度は、「新潟県柏崎市総合体育館」において開催する。面数の関係により、各県参加ペア数を4ペアから3ペアに変更する。
- (2) 北信越選手権大会の参加ペア増加促進

■ 県連事業報告

1 情報共有の促進

各支部連絡責任者、関係者等に対し、年間を通じて連盟運営事業等、共有できる情報をメールにて随時発信した。

また、広報委員会を通じてホームページ、SNSを活用し、連盟事業の情報発信の強化を図った。

2 大会の開催および運営

年間を通じて県内各地で予定通り大会を実施し、平常通りの大会が年間を通じ開催でき、多くの選手の皆様に参加いただいた。猛暑対策として7月・8月開催の大会ではインターバル時間を設ける等、熱中症対策の強化を実施した。

3 大会への支援

- (1) 日本連盟主催大会への選手派遣
- (2) 連盟主催大会への補助金交付
- (3) 大会運営に関する助言および支援

4 組織運営・財政基盤の強化検討

- (1) 理事会・評議員会の開催
- (2) 正副会長・理事長会議の開催
- (3) 各種委員会の運営
- (4) 財政基盤の見直し（監査指導による）

5 その他の取り組み

- (1) 傷害補償制度の適切な運用
- (2) アンチ・ドーピング教育の推進
- (3) 環境配慮活動の実施(来た時よりもキレイに！)

(4) ガバナンス・コンプライアンスに関する啓発

■ 各委員会

1 総務委員会

- (1) 在り方検討委員会の答申を受けた規約改正等の検討
規約改正案や評議員・理事の適正な定数について検討し、理事会・評議員会に諮った。
 - (2) 表彰者の申請資料作成
日本ソフトテニス連盟、長野県スポーツ協会、長野県ソフトテニス連盟への表彰者申請資料を作成し、理事会・評議員会に諮った。
 - (3) 大会成績の送付と取りまとめ
日本ソフトテニス連盟への県連盟主催・主管大会の大会成績について、定期的に送付した。
 - (4) 総務委員会の開催
今年度6回開催し、規約改正案作成を中心に実施した。
 - (5) 在り方検討委員会への参加
- 成果・課題・改善案
法人化については進められず、来年度以降の検討課題とする。

2 審判委員会

- (1) 公認審判資格取得の促進
 - ・ 1級審判員検定会（長野）：11月29日、30日 参加者68名
 - ・ 2級審判員検定会、研修会、ジュニア審判員検定会：各地区（支部）において実施
 - ・ 資格取得実績
MR 1名、1級4名、2級1, 042名、ジュニア1, 493名
 - (2) 国スポに向けた1級審判員育成
 - ・ 国スポ委員会審判部会議の開催：5月5日、8月9日 計2回開催
 - ・ 1級審判員取得に向けた講習会および実技練習：7月27日、8月3日 計2回開催、参加者18名
 - (3) 審判員派遣
 - ・ 北信越国民スポーツ大会（富山）：8月23日、24日 10名派遣
 - ・ 全日本選手権大会（東京）：11月6日、7日 5名派遣
 - ・ 北信越選抜インドア（新潟）：11月23日 1名派遣
 - ・ その他県内主要大会：高校総体、県選、高校新人大会など
- 成果・課題・改善案
- ・ 本年度1級審判員30名が合格。国スポに向け計40名の取得を目指す
 - ・ 国スポに向けて2級審判員の確保と技術向上が課題である。
 - ・ ハンドブック改訂により「ルールブック」へ変更された。
 - ・ ジュニア審判マニュアルを有償により再発刊した。
 - ・ 2026年4月以降販売のラケットについて、公認マークが削除される。
 - ・ 公認審判員認定料が2027年4月1日より改訂される。

3 競技委員会

- (1) 中学校クラブチーム対抗戦春季（長野市）
- (2) 北信越国民スポーツ大会視察（高岡市）

- (3) 県総合選手権運営（松本市）
- (4) 国民スポーツ大会視察（長浜市）
- (5) 中学校クラブチーム対抗戦秋季（長野市）
- (6) 県クラブチームリーグ戦
 - ・春季：5月31日、6月4日、5日、7日、8日開催
 - ・秋季：10月4日、5日、8日、11日、16日、23日開催
- 成果・課題・改善案
 - ・国スポ視察を実施、悪天候時の運営について確認できた
 - ・中学校クラブチーム対抗戦は、中体連地区予選と併せて実施する予定である。（令和8年度）

4 広報委員会

- (1) 県連公式ホームページへ県連事業の掲載
- (2) 大会速報の発信
- (3) Instagram、X等公式SNSを使用した連盟情報を発信

5 育成委員会

- (1) 「ソフトテニス競技者育成プログラム（Step-2）」事業実施
 - ・7月19日、20日に長野運動公園（東和田）にて実施した。
 - ・Step-3（北信越ブロック）において、U-14男子で平林由悠季選手（鉢盛クラブ）が北信越代表としてジュニアジャパンカップ（Step-4）に選出された。
- (2) Step-2参加選手強化練習会（各カテゴリーと連携した育成事業）
 - ・1月10日やまびこドームにて実施した。
 - ・今年度初めての試みとして、県全体から夏のStep-2参加選手を集め、練習会を実施した。小体連選手も合同で実施した。
- (3) U-14強化練習会および県外遠征（各カテゴリーと連携した育成事業）
 - U-14強化指定選手決定後、男女それぞれ7回程度の強化練習および県外遠征を実施した。
 - ・11月 9日 強化練習会・講習会（南長野）
 - ・11月22日 シングルス研修会（東和田）
 - ・12月20日 男子群馬遠征（ALSOK群馬）
 - ・12月21日 女子強化練習会（サンビレッジ）
 - ・12月27日 男子東京遠征（有明）
 - ・12月28日、29日 女子群馬埼玉遠征
 - ・1月 3日 男女国スポ強化練習会への参加（やまびこドーム）
少年男女との合同
 - ・2月 1日 男子強化練習会（サンビレッジ）
 - ・2月 8日 女子埼玉遠征（熊谷さくら運動公園）
 - ・3月 7日 男女国スポ強化練習会および講習会への参加
（やまびこドーム）少年男女との合同
- 成果・課題・改善案
 - ・1月～3月の期間、3月の都道府県対抗戦に向けた県選抜選手対象の事業の中に、U-14強化指定選手を対象とした事業を定期的に組み込み、実施することができた
 - ・選手数が減少してきており、金銭面での課題がある。強化スタッフに対す

る日当や旅費の支給、選手への補助が難しくなっている。

・各地区で実施するStep-1の実施方法を工夫していく必要がある

6 生涯スポーツ委員会

- (1) ねんりんピック県予選会
期日：令和7年4月19日（土）
会場：塩尻市中央スポーツ公園 参加：3ペア
 - (2) 全国ねんりんピック
期日：令和7年10月18日（土）～20日（月）
会場：岐阜県瑞穂市、大垣市
結果：予選リーグ4位、決勝トーナメント1回戦敗退
 - (3) 日本マスターズ2025県予選会
参加ペアなし
 - (4) 日本スポーツマスターズ2025
会場：愛媛県今治市
予選会参加者なしのため、参加見送り
 - (5) 信州ねんりんピック
期日：令和7年9月27日（土）
会場：大町運動公園庭球場
60歳の部：8ペア参加 70歳の部：8ペア参加
- 成果・課題・改善案
参加者が少ないことが課題である。

7 会員登録委員会

- (1) 会員登録数について
 - (2) 新日連会員登録システムについて
各団体責任者からの質問等に対応した。
 - (3) 新規団体作成について
新規団体作成申請書を作成し、日連へ申請した。
 - (4) 日連会員登録料改定に関する説明会
令和6年2月6日（リモート参加）
- 成果・課題・改善案
技術等級および審判等級・有効期限等について、会員個人が確認できるよう依頼している。

8 指導委員会

- (1) ソフトテニスコーチ1養成講座
期日：令和7年10月13日～12月21日
会場：安曇野市穂高会館
・4日間実施、受講者70名（うち2名辞退）
・4級技術検定会：9名・2級審判員講習会：18名
 - (2) 指導者講習会
期日：令和7年11月30日
会場：南長野運動公園体育館
・講師：強化委員会 ・受講者：延べ20名 ・実技による講習会を実施。
- 成果・課題・改善案
・受講者要望であった中信地区でのコーチ1養成講座を開催し、一定の評価

を得られた。

・令和8年度のコーチ1養成講座は実施しない予定であったが、開催要望が多くあり部活地域展開促進のため実施することとした。

なお、令和7年度の受講数が多く管理が困難であったため、令和8年度は募集人数に制限を設ける。

・指導者講習会の参加人数が少ないことが課題である。

9 技術等級委員会

(1) 大会成績認定

SP：15人 1級：4人 2級：15人 3級：19人 小計：53人

(2) 検定会認定

1級：6人 2級：23人 3級：11人 4級：33人 小計：73人

合計：126人

○ 成果・課題・改善案

・申請してから登録料の振り込みまでにタイムラグがあり、照合に時間を要しているため、申請後は速やかに振り込みをお願いしたい。

・決算の都合上、申請は11月末までをお願いしたい。

10 強化委員会

(1) 定期強化練習

成年男女：松本市を拠点に2月～10月に計9回実施した。

(2) 強化練習（GW期間）

・成年男女：5月3日～5日 ・各回指導者2名程度、選手10名程度

(3) 北信越ブロック、国スポ本大会強化練習

選手選考後、大会までほぼ毎週土日実施した。

(4) お盆合同強化練習（国スポ種別、中学）8月9日～11日

・選手100名程度、指導者25名程度

(5) 北信越国スポ直前合同練習（全種別）8月16日、17日

(6) 県外チーム対外試合（全種別）

・成年男子：群馬遠征、山梨と対外試合

・成年女子：新潟遠征、滋賀遠征、群馬と対外試合

・少年男子：富山遠征、やまびこ杯

・少年女子：埼玉遠征、やまびこ杯

(7) 強化指定選手強化

中学、高校を中心に選手を指定し、合同練習を3回程度開催した。

(8) 強化指定校強化

・男子（長野俊英高校）、女子（松商学園高校）

・大橋アドバイザーによる指導

・県外強豪校との対外試合（県内及び滋賀県、宮城県）

(9) 各種別県大会、県外大会視察

県選手権、県総体、国スポ、全日本、北信越、東日本

(10) 県外選手勧誘、面談

平和カップひろしま、全日本シングルス、全日本学生選手権、全日本選手権、長野県庁、東京

(11) 強化委員会、指導者会議

3月、9月、11月に開催した。

○ 成果・課題・改善案

・定期強化練習

学生以外の選手の練習環境を確保し、技術レベル向上、維持を図ることができた。

・強化練習（GW期間）

本格的なシーズンインの前に、強度の高い練習を行い、心身共に戦う姿勢を整えることができた。

・合同強化練習（お盆期間）

全種別および長野国スポ少年種別ターゲットエイジを含めた県内トップ選手による合同練習により、強化全体の方向性や意識を統一できた。

また、指導の一貫性も図ることができた。

・北信越国スポ合同練習

チーム長野としての意識の統一と向上を図ることができた。

・県外チーム対外試合

これまで反省で挙がっていた遠征や対外試合が足りないという点を補い、実戦でしっかり戦える体制作りができた。

・県外選手勧誘、県外大会視察

県外大会を視察する中で、長野国スポに向けて招聘を検討する選手を見定め、実際に各監督や選手に接触でき、実際の招聘につなげることができた。県外での長野県選手の戦いぶりを視察し、不足している点を把握し、指導会などでフィードバックできた。

・強化委員会、指導者会議

各種別の指導者を一堂に集め、種別間での問題や課題の共有、合同練習会の開催などを行うことで、長野国スポに向けた統一した方向性を見出すことができてきた。強化の指導体制の構築が進んだ。

11 レディース委員会

- (1) 第1回レディース委員会役員会議 2月22日 やまびこドーム
- (2) レディース決勝大会、シニアレディース大会県予選会組み合わせ会議
5月6日 安曇野市豊科公民館
- (3) レディース決勝大会県予選会 5月10日 浅間温泉庭球公園
- (4) シニアレディース大会県予選会 5月10日 浅間温泉庭球公園
- (5) レディース決勝大会強化練習
6月25日 浅間温泉庭球公園 7月6日 辰野荒神山
8月3日 美須々屋内運動場
- (6) シニアレディース大会強化練習
7月8日 塩尻中央 10月6日 塩尻中央
- (7) 県レディース選手権大会組み合わせ会議 9月23日
- (8) 県レディース選手権大会 9月25日 浅間温泉庭球公園

○ 成果・課題・改善案

令和7年度初めての試みとして、レディース決勝大会県予選会とシニアレディース大会県予選会を同日開催した。成果としてはコート使用料や組み合わせ会議費用等を節約することができた。

・参加者の増加対策並びに、土日開催のコート確保への協力が課題である。

長野国民スポーツ大会準備担当 2025年度事業報告

事業内容	期日・結果等
応援Tシャツ販売 (@4,000円)	・販売枚数1,007枚(純利益503,500円) ・前年度在庫販売枚数10枚(@3,500円)
大橋アドバイザー強化練習 会実施、視察等の帯同	・強化練習、国スポ帯同、視察等帯同を含めて全12回招聘
北信越国スポ視察 (運営状況等の確認)	・令和7年8月23日～24日 富山県高岡市 県連役員3名(堀金理事長・古幡副理事長・榛葉事務局長)、事務局2名、上田支部5名、担当理事・富沢が現地視察を実施。 令和8年に北信越国スポを控える中、選手・審判団のテント数量、熱中症対策、ボールやマッチにおける各種備品の数量、監督会議や開会式の段取り等を確認した。
滋賀国スポ視察 (運営状況等の確認)	・令和7年10月3日～5日 滋賀県長浜市 県連役員2名(堀金理事長・古幡副理事長)、江元競技委員長、小平審判委員長、担当理事・富沢が現地視察を実施。上田市副市長や上田市国民スポーツ大会準備室係長も合流し、観客席や売店、選手控え所テント等の会場設備について確認した。また、会場周辺のインフラ状況も確認した。
選手強化に関する協賛金事業の開始	・企業3社、クラブ等団体2団体 個人3名 計8先からご協賛いただいた。 ・ゴールド協賛(1口10万円)、シルバー協賛(1口5万円)、ブロンズ協賛(1口1万円)の3種類で協賛を募り、合計65万円(明細別紙)
令和8年度物資販売 品目・デザイン検討	・ヨネックス担当者と打ち合わせ実施

成果・課題・改善案など

【成果】

- ・応援Tシャツ販売により、選手強化資金を確保できた
- ・他県国スポ視察により、具体的な運営ノウハウと課題を把握できた
- ・協賛金事業を開始し、企業・団体・個人から幅広い支援を得ることができた
- ・トップ指導者の継続的な招聘により、選手強化を推進できた

【課題】

- ・今後も継続的な資金確保が必要
- ・視察で得た知見を具体的な準備計画に反映させる必要がある

【改善案】

- ・協賛金事業の更なる拡大と周知
- ・応援グッズの品目拡充の検討
- ・各支部との連携強化

【お願い】

各支部におかれましては、国スポ応援Tシャツと協賛金が選手強化に関する事業であることをご理解・ご賛同いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第82回国民スポーツ大会（信州やまなみ国スポ）関連報告

- (1) 国民スポーツ大会（2028年）
開催日程：10月7日（土）～10月10日（火）まで上田市で開催
競技日程：成年男女：7日、8日 少年男女：9日、10日
各種目前日練習も実施（上田市内各コート）
- (2) 北信越国民スポーツ大会（2026年）
開催日程：8月21日（金）～8月23日（日）まで 上田市で開催
- (3) リハーサル大会（2027年）全日本実業団ソフトテニス選手権大会
開催日程：7月30日（金）～8月1日（日）まで
会場：サブ会場は松本浅間で検討中（初日のみ）。決勝は上田市で実施
- (4) 運営コンセプト
選手ファースト：選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整備
コンパクト化：財政面を考慮し、必要最低限の設備で運営
地域特性の活用：上田市の既存施設の利点を最大限活用
レガシー創出：インフラ整備や機運醸成による地域への貢献
- (5) 宿泊
エージェント：名鉄観光株式会社（北信越国スポ入札により落札）
リハーサル大会も継続依頼予定（本大会時は再入札の可能性あり）
- (6) 大会運営
主体：県連、上田支部と連携
- (7) 審判
1級審判員を中心に配置、実働は取得者の約3分の1程度を見込む
各支部に審判育成の継続を要請
- (8) 競技補助員
上田市内の高校生を中心に、原則東信地区内をメインに募集
- (9) 運営スタッフ
県内全体から募集するが、上田支部のスタッフが中心
北信・東信地区から優先的に固める方針（距離的理由）
2026年から必要人数を確定していく
- (10) 準備プロセス
2027年の全日本実業団大会（リハーサル大会）は国スポより規模が大きい
上田支部・上田市と定期的にミーティングを実施し、調整状況を随時共有
- (11) 役割分担
県と中央競技団体：大会全体の枠組み
競技団体（県連）：大会運営（試合進行、審判配置など）
開催市・県：駐車場、周辺設備など行政関連事項

報告事項

2025年 収入支出決算報告（一般会計）

自 2025. 1. 1（令和 7年 1月 1日）
至 2025.12. 31（令和 7年12月31日）

収入の部

（単位：円）

科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
前年度繰越金	2,212,755	2,212,755	0	
補助金等収入	1,500,000	1,720,960	220,960	
補助金収入	1,500,000	1,720,960	220,960	日本ソフトテニス連盟 1,392,960 県スポーツ協会 110,000 競技役員養成事業補助金 218,000 その他 0
事業活動収入	4,200,000	4,029,800	△ 170,200	
大会参加料	2,600,000	2,498,300	△ 101,700	ハイジャバ県予選 256,000 少年少女国スポ選考会 93,000 成年国スポ一次選考会 138,000 成年国スポ二次選考会 167,000 県総合選手権大会 442,000 全日本実業団県予選 90,000 北信越インドア県予選 104,000 中学クラブチーム戦 75,000 県ミックス 147,000 県シングルス 61,000 その他大会参加料 925,300
大会協力金	1,600,000	1,531,500	△ 68,500	中学新人大会協力金 704,000 県連主催大会協力金 827,500
会費収入	1,060,000	1,078,000	18,000	
加盟団体	60,000	60,000	0	高体連・中体連・小体連 20,000 × 3 60,000
支部分担金	730,000	760,000	30,000	松本・長野・上田・岡谷・伊那 40,000 × 5 200,000 飯田・塩尻・大町・小諸・下諏訪 30,000 × 5 150,000 須坂・中野・飯山・佐久 30,000 × 4 120,000 諏訪・茅野・千曲・安曇野 30,000 × 4 120,000 御代田・東御・みのわ 20,000 × 3 60,000 丸子・波田・木曾・朝日 20,000 × 4 80,000 過年度分 30,000
役員会費	270,000	258,000	△ 12,000	会長 100,000 × 1 100,000 名誉会長・副会長 10,000 × 2 20,000 顧問 10,000 × 0 0 副会長 20,000 × 3 60,000 理事 2,000 × 38 76,000 過年度分 2,000
雑収入	3,507,245	2,961,647	△ 545,598	
保険料収入	1,400,000	1,496,275	96,275	傷害保険料 818,700 保険料還元金 677,575
その他雑収入	2,107,245	1,465,372	△ 641,873	会員登録還元金 964,062 委員会協力金 500,000 その他 1,310
繰入金	0	0	0	
基金繰入金	0	0	0	連盟基金借入金 0
当期収入合計	10,267,245	9,790,407	△ 476,838	
収入合計	12,480,000	12,003,162	△ 476,838	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
事業活動費	7,270,000	5,914,237	△ 1,355,763	
競技大会費	2,850,000	2,695,511	△ 154,489	ハイジャパ県予選 (補助金) 50,000 少年少女国スポ選考会 (補助金) 50,000 成年国スポ一次選考会 (補助金) 60,000 成年国スポ二次選考会 (補助金) 60,000 全日本実業団県予選 (補助金) 50,000 全日本レディース県予選 (補助金) 70,000 シニアレディース大会 (補助金) 40,000 県レディース選手権 (補助金) 80,000 県ミックス (補助金) 30,000 県シングルス (補助金) 30,000 全日本小学生県予選 (補助金) 80,000 全国小学生県予選 (補助金) 50,000 小学生シングルス大会 (補助金) 20,000 県小学生団体戦 (補助金) 50,000 マスターズ県予選 (補助金) 0 ねんりん県予選 (補助金) 20,000 県総合選手権大会 (補助金) 80,000 北信越インドア県予選 (補助金) 20,000 信越大会 (補助金) 20,000 高校一年生大会 (補助金) 40,000 中学クラブチーム戦 (補助金) 60,000 各種大会会場使用料 550,390 大会諸経費 10,241 県外大会(参加費等) 1,174,880
表彰費	700,000	685,210	△ 14,790	参加賞・賞品代 685,210
選手強化費	600,000	60,000	△ 540,000	国スポ選手強化補助 0 強化練習補助・経費他 60,000
講習会費	50,000	0	△ 50,000	各種講習会 0
育成費	500,000	560,000	60,000	競技者育成プログラム推進費等 560,000
会議費	60,000	0	△ 60,000	事業活動に伴う会議等 0
旅費交通費	1,200,000	1,220,997	20,997	事業活動に伴う旅費・日当 1,220,997
交際費	80,000	0	△ 80,000	メーカー接待等 0
消耗品費	30,000	0	△ 30,000	大会準備関係消耗品等 0
印刷費	30,000	0	△ 30,000	大会プログラム等 0
通信運搬費	30,000	0	△ 30,000	切手代・郵送料等 0
連盟活動費	390,000	408,800	18,800	日本ソフトテニス連盟 190,000 東日本ソフトテニス連盟 50,000 北信越ソフトテニス連盟 20,000 県スポーツ協会 148,800
事務局経費	700,000	230,000	△ 470,000	事務局運営に伴う経費等 230,000
雑費	50,000	53,719	3,719	振込手数料等 53,719

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
管理費	2,210,000	2,445,021	235,021	
会議費	30,000	53,651	23,651	理事会・評議員会 24,170 その他会議 29,481
旅費交通費	300,000	407,160	107,160	理事会・評議員会 244,900 その他会議 162,260
印刷費	40,000	50,070	10,070	理事会・評議員会資料 0 その他印刷代 50,070
通信運搬費	20,000	0	△ 20,000	郵送料等 0
備品費	30,000	3,460	△ 26,540	備品管理費 3,460
消耗品費	30,000	17,656	△ 12,344	事務用品他購入費 17,656
交際費	30,000	42,494	12,494	役員交際費 36,180 慶弔費 6,314
損害保険料	1,000,000	1,050,530	50,530	各種大会傷害保険料 1,050,530
管理事務費	700,000	820,000	120,000	事務局費 610,000 各種委員会経費 210,000
雑費	30,000	0	△ 30,000	振込手数料 0
補助費	2,500,000	2,448,490	△ 51,510	
支部育成費	1,800,000	1,776,680	△ 23,320	地区支部育成費 1,776,680
各種還元金	700,000	671,810	△ 28,190	会員登録還元金 271,810 4地区連絡協議会 400,000
国スポ補助金	0	0	0	
運営費	0	0	0	国スポ準備委員会への運営費 0
基金	500,000	0	△ 500,000	
返済金	500,000	0	△ 500,000	基金借入返済金 0
当期支出合計	12,480,000	10,807,748	△ 1,672,252	
次年度繰越金	0	1,195,414	1,195,414	
支出合計	12,480,000	12,003,162	△ 1,672,252	

前年度繰越金	2,212,755 円
当期収入合計	9,790,407 円
当期支出合計	10,807,748 円
次年度繰越金	1,195,414 円

上記のとおり2025年（令和7年）の収支決算を報告いたします。

令和7年 12月 31日



理事長
会計

堀金 孝志
長坂 岳紀

監査報告書

令和 8 年 1 月 17 日

長野県ソフトテニス連盟

監事 若林 守 
監事 竹村 大喜男 

私たち監事は、当連盟の2025年1月1日（令和7年1月1日）から2025年12月31日（令和7年12月31日）までの2025年度（令和7年度）の決算及び業務執行の状況について、関係諸帳簿、証拠書類等の監査を行いました。その結果、適切に執行されていたことを認めましたので、監査報告書を作成し、報告いたします。

■ 県連事業計画

1 基本方針

- (1) 長野国民スポーツ大会の成功に向け、競技力向上、円滑な大会運営を優先課題とし、選手・指導者・役員・審判体制の強化を推進します。
- (2) 健全な組織運営、ガバナンス・コンプライアンス強化を推進します。
- (3) 部活動地域展開対応、競技者普及育成、生涯スポーツの推進を行います。
- (4) 環境等に配慮した持続可能なソフトテニスを実践し、SDGsの理念に沿った競技運営を推進します。

2 重点事業

- (1) 競技力向上と選手育成
 - ・代表選手選考過程の透明性確保
 - ・医科学分野と連携した健康増進・安全管理・競技力向上の推進
- (2) 指導者養成・資質向上
 - ・スポーツマナーの普及・啓蒙(マナーブック等の活用)
 - ・JSP0 公認コーチ資格取得の促進
 - ・指導者マッチングサイトの周知と活用促進
- (3) 審判体制の強化
 - ・審判員の計画的養成と資質向上
- (4) 競技者普及育成・生涯スポーツの推進
 - ・普及育成イベントの実施
 - ・小学生・中学生クラブチームの育成支援
 - ・レディース・シニア層への普及促進
 - ・グレード別大会の開催検討
- (5) 組織運営・広報・会員登録システムへの対応
 - ・時代に即した組織編制の実施
 - ・規約等の改正
 - ・法人化への検討推進
 - ・ホームページ・SNS等を活用した積極的な情報発信
- (6) コンプライアンス・ガバナンスの強化
 - ・公益通報窓口の開設
 - ・会計の透明性確保
 - ・コンプライアンス研修の実施
 - 本連盟で発生した事案を教訓として、参加者それぞれが自分事として考えるような内容で実施。
 - ・アンチ・ドーピング活動の推進
 - ・加盟団体との情報・意見交換の促進
- (7) リスク管理・安全対策
 - ・熱中症・感染症対策等、プレー時の安全対策の徹底
 - ・傷害保険制度の見直しと周知
 - ・猛暑期大会の開催時期・方法の検討
 - ・救護体制の整備

- (8) 持続可能性への取り組み(SDGs 推進)
 - ・環境宣言・フェアプレー宣言の推進
 - ・大会における資源循環の促進
 - ・ペーパーレス化の推進(電子申込・電子配信等)
 - (9) 部活動地域展開への対応
 - ・地域展開推進計画に基づく支援事業の実施
 - ・指導者資格取得への支援
 - ・部活動とクラブチームの連携促進
 - (10) 2027年国スポリハーサル大会「全日本実業団選手権」運営
 - ・大会運営ノウハウの蓄積
 - ・運営スタッフ・審判員の実践的研修
 - ・おもてなし・接遇体制の確立
 - (11) その他
 - ・会員増加対策の推進
 - ・表彰制度の適切な運用
 - ・関係団体との連携強化
 - ・全国大会の開催検討 令和9年度全日本小学生選手権(令和10年3月)
- 3 大会行事日程
- ・別紙のとおり
 - ・ネーミングライツ導入によるコート名変更
 - ・松本市 浅間温泉庭球公園⇒オムニコート浅間温泉テニスパーク
扇子田運動公園⇒タカサワ通商 SENSUDA Park

■ 各委員会

1 総務委員会

- (1) 在り方検討委員会の答申を踏まえた制度見直し等
 - ・規約及び諸規程(表彰規程・慶弔規程等)の見直し
 - ・ガバナンス体制の見直し
 - ・適正な経費及び助成金・補助金の整理・明確化
 - ・法人化に向けた検討の推進
- (2) 表彰候補者申請資料の作成

日本ソフトテニス連盟、長野県スポーツ協会、長野県ソフトテニス連盟への表彰申請について、各支部から推薦された候補者を総務委員会で審査し、理事会及び総会に諮る。
- (3) 大会成績の取りまとめ及び報告

県連盟主催・主管大会の成績を取りまとめ、日本ソフトテニス連盟へ報告する。
- (4) 総務委員会の開催

必要に応じて随時開催する。
- (5) 在り方検討委員会への参加

必要に応じて参加する。

2 審判委員会

- (1) 公認審判資格取得の促進
 - ・1級審判員検定会・研修会：各地区(支部)にて実施予定

- ・ 2級審判員検定会・研修会及びジュニア審判員検定会：各地区（支部）において実施予定。
- (2) 国民スポーツ大会に向けた審判技術の向上
 - ・ 国スポ審判部会議の開催（年3回程度）
 - ・ 1級審判員の技術向上（北信越国スポ、全日本選手権における実技研修）
 - ・ 2級審判員の確保及び技術向上（リハ大会2027年全日本実業団選手権大会に向けた検討）
- (3) 審判員の派遣
 - ・ 北信越国民スポーツ大会（上田市）
 - ・ 全日本選手権大会（東京都）
 - ・ 北信越選抜インドア大会（新潟県）
- 3 競技委員会
 - (1) 県総合選手権大会の運営
 - (2) 県クラブチームリーグ戦の運営
 - ・ レディースの部を土日開催に変更
 - (3) 北信越国民スポーツ大会の運営（上田市）
 - (4) 国民スポーツ大会の視察（青森市）
 - (5) 普及・育成事業の実施（キッズアカデミー、普及育成大会等）
- 4 広報委員会
 - (1) 国スポ・リハ大会専用ページの作成
 - (2) 県連公式ホームページへ県連事業の掲載
 - (3) 大会速報の発信
 - (4) Instagram、X等公式SNSを使用した連盟情報を発信
- 5 育成委員会
 - (1) 競技者育成プログラム（Step-2）の実施
令和8年7月25日（土）、26日（日）長野運動公園（東和田）にて実施予定。
 - (2) Step-2 参加選手強化練習会の実施
令和7年度に実施した取組を継続し、選手育成の観点から1月頃を目途に実施予定。
 - (3) U-14強化練習会及び県外遠征
1～3月を中心に、男女それぞれ年3回程度実施予定。
 - (4) 各カテゴリーと連携した育成事業
小学生・少年・成年各カテゴリーと連携し、長期的な選手育成体制の構築を図る。
- 6 生涯スポーツ委員会
 - (1) 各種シニア大会への参加促進
県連及び各支部と連携し、全国ねんりんピック、日本スポーツマスターズ等への参加を促進する。
 - (2) 実施予定大会
 - ・ 全国ねんりんピック県予選会
 - ・ 日本スポーツマスターズ2026県予選会
 - ・ 信州ねんりんピック
 - (3) 参加予定大会

- ・全国ねんりんピック
令和8年11月7日(土)～9日(月) 埼玉県熊谷市
※令和9年大会は開催方式の変更を検討中(厚生労働省)
- ・日本スポーツマスターズ2026
令和8年9月19日(土)～20日(日) 石川県金沢市

7 会員登録委員会

- (1) 各団体からの依頼への対応(随時)
- (2) 新規団体登録への対応(随時)
- (3) 会員登録の推進
- (4) 重複登録の解消及び整理
- (5) 日本連盟との連絡調整
日本連盟への問い合わせは、原則として会員登録委員会を通じて行う。
- (6) 会員登録(県連分)登録料改定案の検討(別紙参照)

8 指導委員会

- (1) 指導者年会費案内(令和8年6月)
- (2) 資格更新案内(令和8年6月)
- (3) ソフトテニスコーチ1養成講座の開催
令和8年10月～12月(定員35名程度)
- (4) 指導者講習会の開催(令和8年11月)
- (5) スタートコーチ養成講習会の開催検討

9 技術等級委員会

- (1) 会計担当変更の周知(令和8年1月、県連ホームページ掲載)
- (2) 技術等級認定手続きの適正な実施

10 強化委員会

- (1) 定期強化練習(成年男女対象)
松本市・上田市を拠点に年間10回程度実施予定。
- (2) GW期間強化練習(成年男女)
令和8年5月3日～5日(予定)
- (3) 北信越ブロック大会及び国民スポーツ大会本大会に向けた強化練習
7月の選手選考後、本大会まで毎週土日に実施予定。
- (4) 合同強化練習(お盆期間・国スポ種別、中学)
8月中旬実施予定。
- (5) 県外チームとの合同練習(全種別)
8月中旬実施予定。
- (6) 県外チーム招待対外試合(全種別)
上田古戦場コートにて実施予定。
- (7) 強化指定選手強化
大橋アドバイザーによる指導及び合同強化練習会を年間10回程度実施。
- (8) 強化指定校強化
男子：長野俊英高校 女子：松商学園高校
・大橋アドバイザー指導：年4回程度
・県外遠征：年3回程度
- (9) 各種大会視察
県選手権、県総体、国民スポーツ大会、全日本、北信越、東日本各選手権

- (10) 県外選手勧誘・面談（成年男女）
対象者を選定し、成年男女各2～3名を目途に実施。
 - (11) 強化委員会・指導者会議
全種別指導者を対象に年3回程度開催。
- 11 レディース委員会
- (1) レディース委員会役員会（2月）
 - (2) レディース決勝大会県予選大会（5月9日）
 - (3) レディース決勝大会強化練習（7月）
 - (4) シニアレディース強化練習（7月・8月）
 - (5) 北信越ブロックレディース大会の準備及び運営
令和8年9月13日（南長野）準備期間：2月～8月
 - (6) 県レディース選手権大会（10月17日）
 - (7) レディース会員増加に向けた取組の実施

長野国民スポーツ大会準備担当 2026年度事業計画(案)

事業内容	期日・内容等
国スポ応援Tシャツ販売 (@4,000円)	・販売目標 1,000枚(純利益 500,000円) (シーズンに間に合わせるため先行販売を実施)
大橋アドバイザー強化練習 会実施、視察等の帯同	・大橋アドバイザーによる全カテゴリーの強 化指定選手・指導者育成 ・県外強豪チームとの練習試合を実施
北信越国スポ運営	令和8年8月22日～23日 長野県上田市 ・大会の円滑な運営と2028年国スポに向けた リハーサル実施 ・運営ノウハウの蓄積
青森国スポ視察 (運営状況等の確認)	令和8年10月16日～19日 青森県青森市 ・運営状況、会場設備、インフラ状況等の確認 ・2028年国スポに向けた課題抽出と対策検討
協賛金事業	・新規協賛企業の開拓 ・協賛先へのお礼の品検討・送付 ・継続的な協賛関係の構築 協賛実施内容の再確認
大会会場(上田市)を拠点 とした県外チームを招いた強 化研修大会の検討	・滋賀県に倣い、国スポ開催地で近隣県を招いた強化研修大会の 開催を検討 ・県外強豪チームとの実戦的な強化機会の創出
令和9年度物資販売 品目・デザイン検討	・ヨネックス担当者と打ち合わせ実施 ・本番大会に向けた物資選定とデザイン決定

本事業は2028年長野国民スポーツ大会の成功に向けて、以下の目的を持って実施します。

- 1 競技力の向上
トップ指導者の招聘と県外強豪チームとの交流により、選手・指導者のレベルアップを図る。
- 2 大会運営力の強化
北信越国スポの主催運営と他県国スポの視察により、実践的な運営ノウハウを蓄積する。
- 3 財政基盤の確保
応援グッズ販売と協賛金事業により、選手強化に必要な財源を確保する。
- 4 機運の醸成
各種事業を通じて、県内のソフトテニス関係者及び県民の国スポに対する関心と期待を高める。

議案第6号

2026年(令和8年)一般会計収入支出予算

収入の部

(単位:円)

科目	本年予算額	前年予算額	比較増減	摘要
前年度繰越金	1,195,414	2,212,755	△ 1,017,341	
補助金等収入	1,630,000	1,500,000	130,000	
補助金収入	1,630,000	1,500,000	130,000	日本ソフトテニス連盟 1,300,000 県スポーツ協会 110,000 競技役員養成事業補助金 220,000
事業活動収入	4,050,000	4,200,000	△ 150,000	
大会参加料	2,500,000	2,600,000	△ 100,000	ハイジャパ県予選 250,000 少年少女国スポ選考会 100,000 成年国スポ一次選考会 150,000 成年国スポ二次選考会 150,000 県総合選手権大会 450,000 全日本実業団県予選 90,000 北信越インドア県予選 90,000 中学クラブチーム戦 80,000 県ミックス 150,000 県シングルス 60,000 その他大会参加料 930,000
大会協力金	1,550,000	1,600,000	△ 50,000	中学新人大会協力金 700,000 県連主催大会協力金 850,000
会費収入	2,854,000	2,360,000	494,000	
加盟団体	60,000	60,000	0	高体連・中体連・小体連 20,000 × 3 60,000
支部分担金	730,000	730,000	0	松本・長野・上田・岡谷・伊那 40,000 × 5 200,000 飯田・塩尻・大町・小諸・下諏訪 30,000 × 5 150,000 須坂・中野・飯山・佐久 30,000 × 4 120,000 諏訪・茅野・千曲・安曇野 30,000 × 4 120,000 御代田・東御・みのわ 20,000 × 3 60,000 丸子・波田・木曾・朝日 20,000 × 4 80,000
役員会費	314,000	270,000	44,000	会長 100,000 × 1 100,000 名誉副会長 10,000 × 2 20,000 顧問 10,000 × 0 0 副会長 20,000 × 4 80,000 理事 2,000 × 43 86,000 過年度分 28,000
個人会費	1,750,000	1,300,000	450,000	個人会費(日連からの還元) 1,750,000
保険料収入	1,450,000	1,400,000	50,000	
保険料収入	1,450,000	1,400,000	50,000	傷害保険料 800,000 保険料還元金 650,000
繰入金	740,000	800,000	△ 60,000	
繰入金	740,000	800,000	△ 60,000	委員会会計より繰入 740,000
その他雑収入	586	7,245	△ 6,659	
その他雑収入	586	7,245	△ 6,659	利息等 586
当期収入合計	10,724,586	10,267,245	457,341	
収入合計	11,920,000	12,480,000	△ 560,000	

支出の部

(単位：円)

科目	本年予算額	前年予算額	比較増減	摘要
事業活動費	5,820,000	6,850,000	△ 430,000	
競技大会費	2,750,000	2,850,000	△ 100,000	県内大会経費 950,000 各種大会会場使用料 550,000 その他諸経費 50,000 県外大会（参加費等） 1,200,000
表彰費	620,000	700,000	△ 80,000	参加賞・賞品代 620,000
選手強化費	0	600,000		強化練習補助等 0
講習会費	50,000	50,000	0	各種講習会 50,000
育成費	460,000	500,000	△ 40,000	競技者育成プログラム推進費等 460,000
会議費	60,000	90,000	△ 30,000	理事会・評議員会 30,000 その他会議 30,000
旅費交通費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000	事業活動に伴う旅費・日当 1,100,000 理事会・評議員会 200,000 その他会議 100,000
交際費	60,000	110,000	△ 50,000	役員交際費 40,000 慶弔費 20,000
消耗品費	30,000	60,000	△ 30,000	大会準備関係消耗品等 30,000
負担金	390,000	390,000	0	日本ソフトテニス連盟 170,000 東日本ソフトテニス連盟 50,000 北信越ソフトテニス連盟 20,000 県スポーツ協会 150,000
管理費	1,780,000	2,630,000	△ 850,000	
印刷費	60,000	70,000	△ 10,000	理事会・評議員会資料 30,000 その他印刷代 30,000
通信運搬費	30,000	50,000	△ 20,000	郵送料等 30,000
備品費	30,000	30,000	0	事務局備品購入費等 30,000
損害保険料	500,000	1,000,000	△ 500,000	各種大会傷害保険料 500,000
事務局経費	280,000	700,000	△ 420,000	事務局運営に伴う経費等 280,000
事務局手当	820,000	700,000	120,000	事務局手当 610,000 各種委員会手当 210,000
施設使用料	10,000	0	10,000	施設使用料 10,000
雑費	50,000	80,000	△ 30,000	振込手数料等 50,000
補助費	1,970,000	2,500,000	△ 330,000	
支部育成費	1,500,000	1,800,000	△ 300,000	地区支部育成費 1,500,000
還元金	270,000	300,000	△ 30,000	会員登録還元金 270,000
地区補助費	200,000	400,000	△ 200,000	4地区連絡協議会 200,000
基金	300,000	500,000	△ 200,000	
返済金	300,000	500,000	△ 200,000	基金借入返済金 300,000
当期支出合計	9,870,000	12,480,000	△ 1,810,000	
予備費	2,050,000	0	△ 2,050,000	
支出合計	11,920,000	12,480,000	△ 1,810,000	

上記のとおり2026年（令和8年）の収支予算を提出します。

理事長 堀金 孝志
会 計 長坂 岳紀